

「信頼できるLLMをどう作るか？」

Synth LLM × LLM-as-a-Judge による構造的アプローチ

ー 出力のブレとハルシネーションを制御し、実務で使える生成AIへ

foxnote

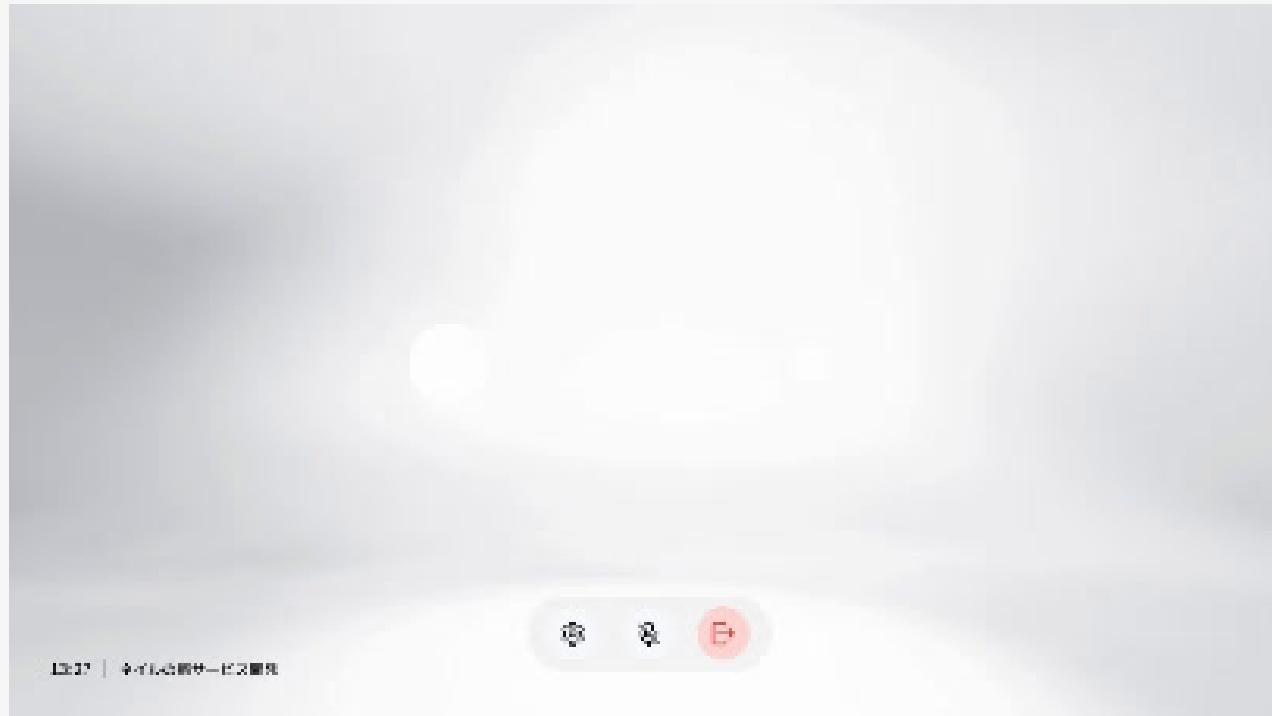
UXの変革で、 ひとに優しい技術の社会実装を

生成AI、メタバース、デジタルツインなど、技術の進化により社会は非線形な変化の時代に突入している。人が技術に使われるカオスな社会ではなく、人々が高度な技術と共存し、生活や仕事をより楽しく、より便利にできるCosmosな社会を創る。

会社概要

会社名	株式会社CosmoSketch
住所	〒600-8009 京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 101 アーバンネット四条烏丸ビル
代表	滝野 天嶺
設立	2022年12月
資本金	100万円
事業内容	UXデザイン コンサルティング 新規事業開発支援
従業員数	6名

Foxnoteとは



AIとともに、
より速く、より深く、
インサイトを発見する。

POINT 01

AI × 人間の協調による インサイト発見

AIがインタビューを設計・実施・分析し、
人はAIと対話形式で本質的な気づきを深める。

POINT 02

企業独自の「観点」を学習する リサーチAI

企業ごとの視点をAIが学習し、フィードバックを通じて
進化するカスタマイズ型リサーチ。

POINT 03

断片的なデータではなく、 構造化された“知”へ

発言やインサイトをデータとして整理・可視化し、
検索・分析しやすい知のネットワークを形成。

LLMの課題

出力のブレ

同じ質問に対して微妙に異なる回答が返ってくる

ハルシネーション

それらしいけど事実ではない情報を生成します。

説明可能性の欠如

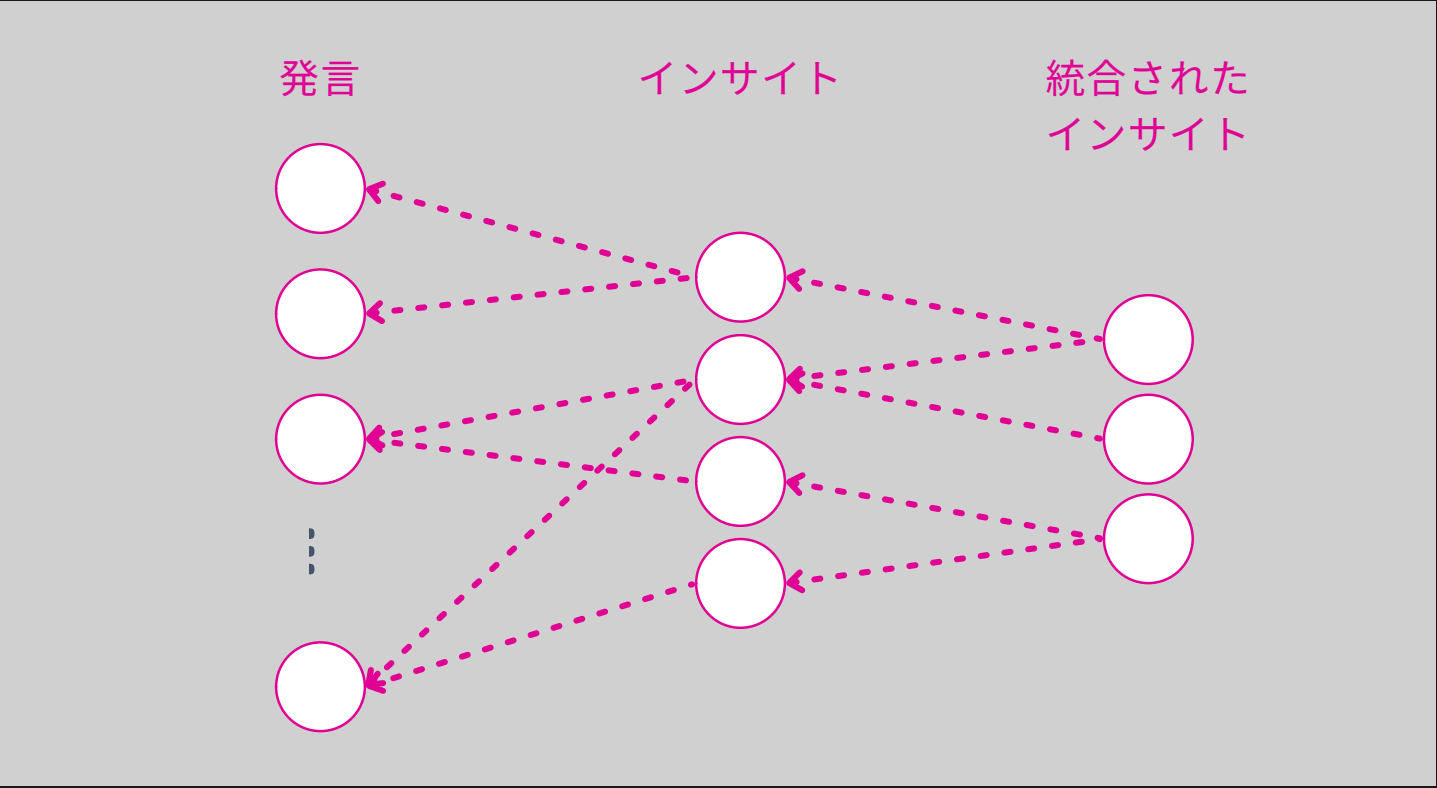
AIがどのように情報を導いたのか説明できません。

これらの問題を放置すると、LLMは、
「すごいけど、実務では使えないもの」
になってしまいます。

Synth LLMとは

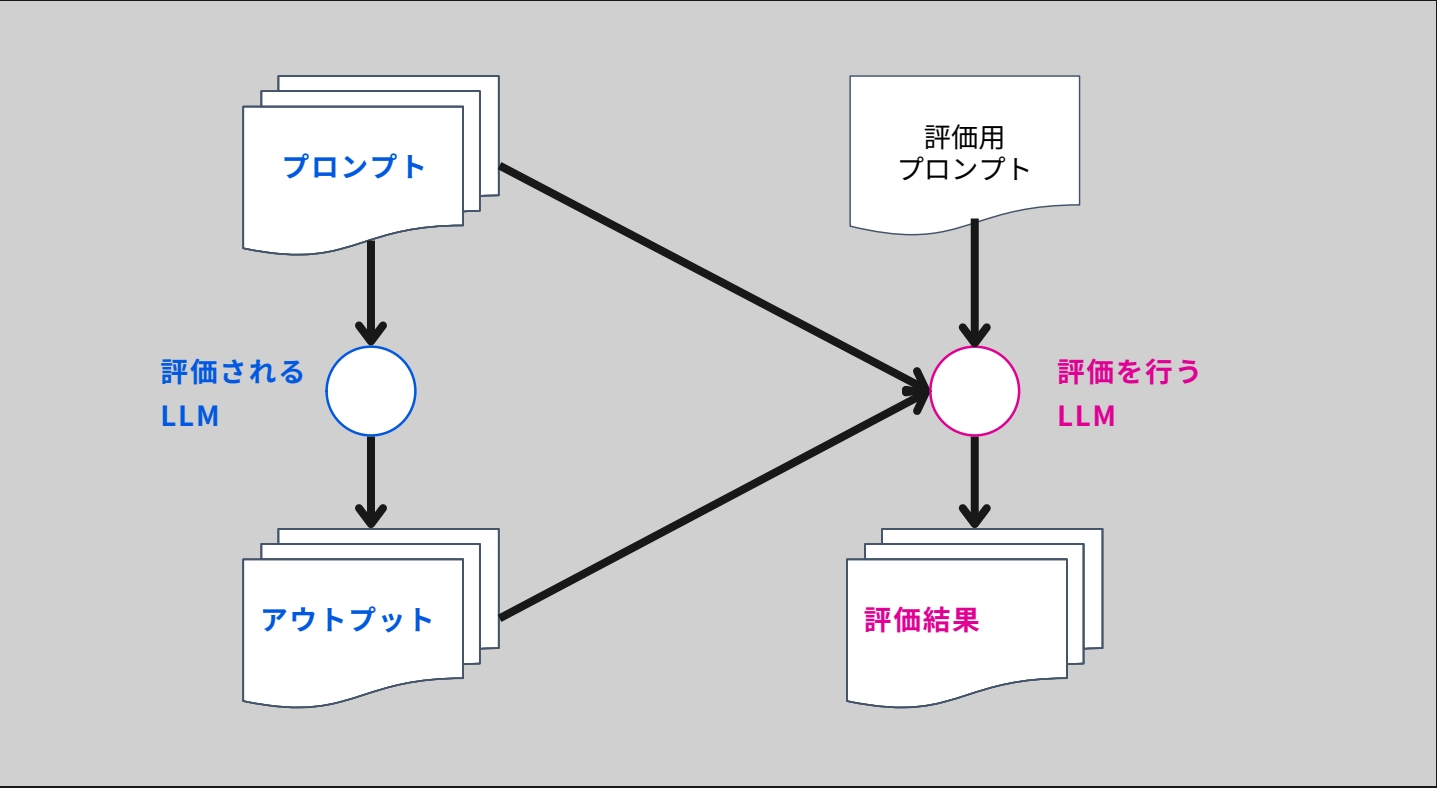
明確な根拠の紐付け

生成されたインサイトすべてを根拠と紐付けるので、「なぜこのインサイトが導かれたのか？」を後から説明できます。



LLM-as-a-Judge

LLM自身が一定の基準で品質評価を行います。必要に応じて再生成させる内部サイクルを持っています。



Synth LLMとは

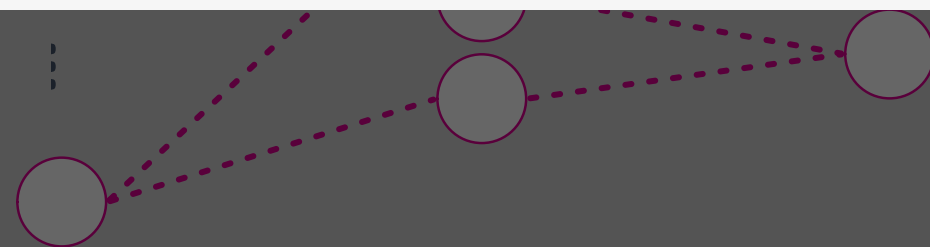
明確な根拠の紐付け

生成されたインサイトすべてを根拠と紐付けるので、
「なぜこのインサイトが導かれたのか？」を後から追

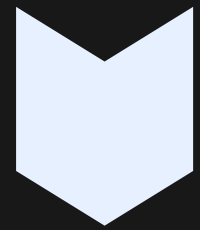
LLM-as-a-Judge

AI自身が一定の基準で品質評価を行います。
必要に応じて再生成される内部サイクルを持っています

この2つを組み合わせることで、
LLMの問題に構造的に対処できます。

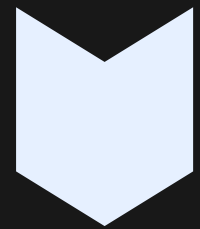


Synth LLMの生成プロセス



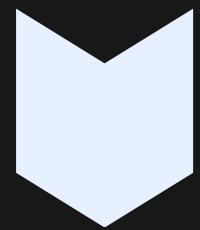
構造化された切片（発言のひとまとまり）の生成

発言を「誰が」「何を」「なぜ」「どのように感じたか」に分解します。



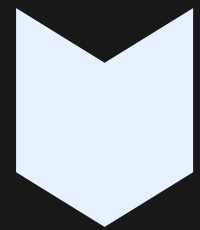
インサイトの抽出

構造化された切片から意味のある示唆を生成します。



LLM-as-a-Judgeによる評価

「一貫性」「根拠性」「網羅性」の3軸でスコアを付けます。



再生成のトリガー

一定のスコアに満たないインサイトは再生成されます。

信頼できるLLMの実現へ

この仕組みは、
UXリサーチ自動化SaaS『Foxnote』に
すでに組み込まれております。

信頼性の確保

説明可能性と
品質の安定

ハルシネーションの 見える化

根拠の明示による透明性

出力のブレの コントロール

自動評価・再生成の仕組み



_takino



ak__630



tarahuku__





foxnote